

音楽でつながる交流の輪

134号

H26.3.1発行

平成25年度
明るいまちづくりの集い!



毎年、年度の最後を飾る公民館行事である「明るいまちづくりの集い」は、今年も西江原地区社会福祉協議会と共催して三月二日(日)に盛会裏に開催することができまし



西江原公民館だより第一号発行 昭和五十五年六月三十日

今回は、岡山を中心にして伝承民謡の採集や採譜、民謡の唄い手、尺八・篠笛奏者として活動されながら郷土文化の伝承・普及に努めておられる、そして特に近年は、「ちくわ笛奏者」としてテレビなどメディアでも幅広く活躍されている桃太郎のからくり博物館長の住宅正人先生のご講演やちくわ笛の演奏、ちくわ笛伴奏による懐かしい歌の合唱等々、先生のユーモアのなかにも整理されたご講話に120人の参加者全員が引き込まれて、いつの間にか過ぎた二時間でした。



先生は、民謡・民話については勿論のこと、地域の歴史や観光資源についてのご造詣も大変深く、那須与一、北条早雲、西江原藩、道祖溪など、旧山陽道沿いにはそうした資源の多いこと、岡山県には、2000曲の民謡(「忠義桜」は新民謡でその中には含まれない)があること、下津井節全国大会審査員としてのエピソードと「下津井節」、「中国地方の子守唄」の元唄など、美声による



全国各地の民謡を織り交ぜながら、民謡の歌詞に含まれる意味や歴史、歌詞と唄に誘われて人が集まり観光地となっているところも多いこと、さらには、綾小路きみまろさんとのTV共演行脚などについても興味深く話してくださいました。

そうした中で、「西江原の売りとなるものは何か」と聞かれ、みんな返事ができませんでしたが、地域を誇れる唄(他地域の人たちが誘われて行ってみたいと思うような歌詞の唄)をつくり広めることも一策との「まちづくり」に対するヒントも。そして、音楽とは、「音」を「楽しむこと」で、音はどこにでもあり「音楽は人や地域の交流の輪を拓げるもの」と結ばれました。

レンコンでの演奏も披露されました。

たが、穴があれば何でもOKとのこと。筆者をはじめ3人がダシとなつてちくわを吹くことになりましたが、「スースー」だけ。ちくわ笛の後継者が出ないことはそれだけ難しいということ、十年の努力と修業があつたことだそうで、ただ敬服するのみでした。

当日は、隣の部屋で「西江原の今昔」写真展を「甲山はつらつ学園」(西江原地区まちづくり協議会)のメンバーが「甘酒」の接待つきで開催し、参加者(住宅先生も)の昔を懐かしむ姿で大盛況でした。

当日の参加者の感想は大好評で、住宅先生とご協力をいただきました自治会、婦人会等関係の皆様にご心から感謝しお礼を申し上げる次第です。

(公民館長 宗高平八)



この一年を振り返って

平成二十五年度も、多くの皆様のご協力とご支援を賜りまして、今年度の「公民館だより」でご報告してきましたように充実した事業が展開できたのではないかと思います。

特に今年度は、それぞれに長い伝統を持った町民運動会と小学校の運動会とを統合した「第一回西江原町大運動会」を開催し、一層の盛り上がりとなり効率化が図れたこと、そして、「井原夏まつり」に幼稚園の園児や保護者、先生たちとともに一五〇人を超える大きな西江原公民館連を組んで参加できたことを記しておきたいと思います。

井原夏まつりの審査基準では良い評価をいただけませんでした。こうした西江原の取り組み方は、大運動会と併せて内外から概ね好評をいただけたとのまとめをし、次年度もさらに工夫を加えて取り組みたいと考えているところです。

そのほかの恒例行事である盆踊り大会、初めて独立して開催したペタンク大会、岡山県警察音楽隊のオープニング演奏で開会したふれあい広場、パソコン教室、しめ縄教室やバレーボール大会、そして、ちくわ笛奏者の住宅正人先生のご公・講演で締めくくった最後の行事「明るいまちづくりの集い」、さらに他の団体などに主管をお願いして毎年開催する囲碁大会やゴルフ大会などともに充実をして終了できたのではないのでしょうか。

また、婦人学級、家庭教育学級、幼児教育学級の活動や文化教室の学習活動も、関係の皆さんが意欲的に取組まれ、その成果の一部をふれあい広場で発表・展示いただいて好評を賜ったことでした。関係の皆様改めて感謝申し上げます。

公民館は、こうした先人の残された伝統的な行事・文化を継承、発展させることが本来の任務ですが、今日では、各地で突発的、ゲリラ的な自然災害が発生することから、安心・安全のまちづくりについて、避難施設としてだけではなく、諸活動のなかで役割を果たすような課題も求められるようになっていきます。

そうした中で、公民館活動においても「西江原地区まちづくり協議会」や次代を担う子どもたちがお世話になっている学校や関係組織との連携をさらに密にして、将来を展望した住みよいまちづくりにつながる活動も加味しなければなりません。

平成二十五年度は、富士山や和食が世界文化遺産に登録され、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピック開催、景気がやや上昇の方向に向くなど明るい話題もある一方、激しい風雨雪被害が日常の生活を脅かし、人命を粗末にするような事件も多かったわが国でしたが、幸いにも私たちは、地理的にも気象条件にも恵まれた「晴れの国」で生活ができたことに改めて感謝しなければなりません。

町民の皆様のご支援に改めて感謝申し上げますとともに、今後も西江

原公民館が、多くの皆様の集い、学び、憩いの場としてまた、まちづくりの役割を果たすことができるよう一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(公民館長 宗高平八)

しめ縄づくり教室



十一月三十日(土)、しめ縄づくり教室を開催しました。

今年度も町内の数名の方が、リーダーとして協力してくださり、参加した町民、興譲館の生徒の方々に、分担してアドバイスをしていたいただきました。

また、地区の行事で使うしめ縄を作るために、初めて参加したという人もあり、皆さん和気あいあいと楽しんで作ることができました。

文化継承のために、今後も継続していきたいと思っております。興味のある方はもちろん、作ったことがない方も是非参加してください。

(文化部長 相田瑞明)



バレーボール大会



十二月一日(日)、西江原小学校体育館にて、第33回西江原町親睦バレーボール大会を開催しました。

前回の大会では、ペタンク大会も同日開催しましたが、今回はバレーボール大会のみを行い、ペタンク大会は別の日程で実施しました。

この大会は、各部総あたりのリーグ戦で順位を決定しますが、毎年フルセットにまでもつれる接戦が多いことから、開始時間を例年より30分早くしました。早朝にもかかわらず選手と大会関係者参加のもと、盛大かつ予想どおり接戦の多い試合となりました。応援の皆さんもアタックが決まるたびに大きな声援を挙げ大会を盛りあげていただきました。結果は、昨年に続き優勝一部、準優勝二部、3位三部、4位四部となりました。選手・役員のみならずご協力ありがとうございました。

(体・レク部長 金島孝和)

2013年度の行事



第2回公民館対抗
グラウンド
ゴルフ大会
(H25.7.7)

第39回 井原夏まつり
(H25.8.3)



第1回大運動会 (H25.5.18)



第2回 ペタンク大会
(H25.10.27)

第51回 市民体育祭
(H25.10.6)



第36回 納涼盆踊り大会
(H25.8.13)



明るいまちづくりの集い
(H26.3.2)

2013 ふれあい広場
(H25.11.25)



第33回
バレーボール大会
(H25.12.1)



か？
くりに挑戦し
ひとつの物づ
くで、世界で
パッチワー
てお持ちし
か？お待ちし
てみません
一緒に針を持
は私たちと一
興味のある方
ませんので、
興味のあり方
は私たちと一
緒に針を持
てみません
か？お待ちし
てお持ちし
パッチワー
クで、世界で
ひとつの物づ
くりに挑戦し
てみません
か？



教室は今年で三年目に入ります。十人足らずの会員ですが、文化祭の展示には百点近くの作品が並びました。ひと針ひと針手間をかけて作った作品にいろいろ声をかけていただき、次回の作品作りに意欲がわいてきました。経験は問いませんので、興味のある方は私たちと一緒に針を持ってみませんか？お待ちしてお持ちしパッチワークで、世界でひとつの物づくりに挑戦してみませんか？

「この配色でいいかな？」
「ここはどうやるんだった？」
「もうすぐ忘れてしまうなあ」と、教室に元氣よく、にぎやかな声が響きます。パッチワークの初心者から何十年と続けられている人が、毎月第一、三木曜日十時から十二時に楽しいひと時を一緒に過ごします。

文化教室紹介

パッチワーク

世界でひとつの宝！

まちづくり報告

平成二十五年度の取り組み

井原市の推進する「協働のまちづくり」施策は、平成二十五年度に「がんばる地域応援補助金」の助成をして、各地域の特色を活かしたまちづくりを奨励するという施策に発展してきました。

平成二十三年度末に設立した「西江原地区まちづくり協議会」も町民の皆様になんげ存在が認められてきたかと思うのですが、二十四年度には、「西江原小学校創立百四十周年記念芸術鑑賞会」やアンケート調査などを実施しました。

平成二十五年度は、前述の「がんばる地域応援補助金」の交付を受けて、中高年者が主体となって学習やイベントなどを実施する「甲山はつらつ学園」と「雄神川流域の自然と環境を護る会」の二つの事業を立ち上げ、前者では、岡山での視察交流会や小学校児童との「昔遊び交流」、西江原の今昔写真展などを、後者では、雄神川流域の皆様を中心にして「ホタルの幼虫放流」や「ホタルの郷」の清掃保

護活動などに取り組んできたところ
です。
また、協議会としては、二つの事業の活動状況や、町内に事務局をもつNPO法人「やさい塾」の取組みについての発表と吉備国際大学の米良重徳先生のご講演などでの「まちづくり研修会」を(二月九日)開催してこれからの方策について学びました。



会長 落合清三
(西江原地区まちづくり協議会)

今後二つの事業を継続・発展させるとともに「まちづくりは人づくり」を念頭に、自治会や公民館、町内のいろいろな団体の活動と連携、調整しながら、私たちの西江原がより住みやすく元気になるような取組みをしたいと思っておりますので、町内の皆様のご理解やご参加、また建設的なご提案など賜りますようお願い申し上げます。

社協だより

サロン甲山の

「ふれあいモーニングカフェ」

一月二十日寒い朝ですが、九時過ぎから参加者が次々元気に美術工芸室に集まって来られます。九時半には満席の状態です。

「〇〇さん、どうしようるんでー。」
「今日話しができるな」と「えがお」の皆さん、会話が弾んできています。

今日は新春のお楽しみ会でビンゴゲームです。出た数字をカードから探すことで、頭の体操になりました。初めての参加者もワクワクです。「ビンゴ！」になった人から豪華な袋に入った、素晴らしい賞品がもらえて、歓声が湧きあがります。喜んでもらえて役員もほっとしました。その後はおいしいコーヒーとパン・玉子のモーニングをゆったりと、味わっていただき、皆で片付けをしました。

このように、サロン甲山は参加者の皆さまがいつまでも若々しく輝いて、笑顔で交流できる場所でありたいと、日々民生委員同士で協力して運営しています。第三月曜日にカフェはオープンします。どうぞお気軽に寄ってください。お待ちしております。

(西江原地区社会福祉協議会
井上京子)

西江原公民館

〒715-0006
井原市西江原町1414
☎ 0866-62-8129
メール
nishi-km@ibara.ne.jp
ホームページ
http://www.ibara.ne.jp/~nishi-km/

